



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ  
 コード番号 3936 URL <https://www.globalway.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 (氏名) 各務 正人  
 (氏名) 吉野 裕規  
 TEL 03(5441)7193

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	895	9.7	158		136		124	
2019年3月期第3四半期	991		20		25		34	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 144百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 34百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	106.74	
2019年3月期第3四半期	29.42	

(注) 2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	838	287	28.4
2019年3月期	722	209	28.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 237百万円 2019年3月期 207百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	3.2	175		170		130		111.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動についての該当事項はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社タイムチケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	1,166,002 株	2019年3月期	1,163,842 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	102 株	2019年3月期	74 株
------------	-------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	1,165,219 株	2019年3月期3Q	1,162,737 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2020年2月27日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用所得環境は底堅さを維持し、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の通商政策に伴う貿易摩擦の影響が懸念されるなど世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループのソーシャル・ウェブメディア事業及びシェアリングビジネス事業が属するインターネット関連市場を取り巻く環境につきましては、企業の積極的な人材採用や副業解禁の流れに伴い、採用ブランディングやシェアリングビジネスへ需要が高まっております。

また、当社グループのビジネスアプリケーション事業が属するクラウド市場を取り巻く環境につきましては、企業が進める働き方改革や、AI・オムニチャネル、ブロックチェーン等デジタル変革へのIT投資によって、引き続き、当社サービスに対する需要は高まっております。

このような環境の中、当社グループの業績につきましては、ソーシャル・ウェブメディア事業では、キャリアコネ及びキャリアコネ転職の収益貢献によりセグメント利益を計上しております。ビジネスアプリケーション事業では、一部契約での受注損失引当金によりセグメント損失を計上しております。シェアリングビジネス事業では、タイムチケットサービスのユーザー数獲得、及びシステム開発の先行投資によりセグメント損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は895,359千円(前年同四半期比9.7%減)、営業損失は158,089千円(前年同四半期は営業損失20,726千円)、経常損失は136,760千円(前年同四半期は経常損失25,787千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は124,375千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失34,207千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

## ① ソーシャル・ウェブメディア事業

ソーシャル・ウェブメディア事業は、働く人のための情報プラットフォーム、キャリアコネ、キャリアコネ企業研究Resaco、キャリアコネニュースへの訪問者数は堅調に推移しました。また、キャリアコネ転職では、採用成果報酬型の売上が期初計画どおりに推移し、前期に開始した求人広告及び採用代行サービスの営業組織強化に投資しております。

以上の結果、ソーシャル・ウェブメディア事業の売上高は469,752千円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益は88,732千円(前年同四半期比23.4%増)となりました。

## ② ビジネスアプリケーション事業

ビジネスアプリケーション事業は、顧客体験管理(CXM)(注1)を重点領域に定め、新たにCMSソリューションベンダであるAcquia社と販売代理店契約を締結し、マーケティング及び営業活動に係る要員を増強しました。ただし、一部のソフトウェア開発契約で大幅な工数増加が発生したため、受注損失引当金を計上しました。また、オムニチャネル販売管理ソリューションVoxer OMSを自社開発していましたが、この事業の見直しを行い、自社製品の開発を中止し組織再編を実施しました。

以上の結果、ビジネスアプリケーション事業の売上高は396,229千円(前年同四半期比21.7%減)、セグメント損失は53,801千円(前年同四半期はセグメント利益67,672千円)となりました。

## ③ シェアリングビジネス事業

シェアリングビジネス事業は、CtoC向けサービス(注2)及びシェアリング・エコノミー型サービス(注3)を展開する株式会社タイムチケットが運営するTimeTicket(タイムチケット)及びスイスZug州のTimeTicket GmbHが対象セグメントです。タイムチケットは、個人が空き時間を売買するサービスとなります。7月から法人と個人間で個人の時間を販売できるサービスとなるTimeTicket Pro(タイムチケットプロ)を開始いたしました。6月にタイムチケット事業を分社化し、6月、8月及び11月に第三者割当増資により222,330千円を調達しております。タイムチケットにおいては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム改修を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるシェアリングビジネス事業の売上高は30,148千円(前年同四半期比64.2%増)、セグメント損失84,637千円(前年同四半期はセグメント損失40,002千円)となりました。

(注1) 顧客体験管理(CXM)とは、カスタマーエクスペリエンスマネジメント(Customer Experience Management)の略で、顧客と企業との関係を、顧客と企業との接点において生じる一連の体験として捉えなおし、体験の質を向上させることで長期的に顧客ロイヤルティを高めようとする手法のこと。

(注2) CtoC向けサービスとは、商取引の形態のうち主に一般消費者同士の売買・取引を扱う形態のサービス。

(注3) シェアリング・エコノミー型サービスとは、個人間で、個人が保有する遊休資産(スキルのような無形のものも含む)の貸出しを仲介するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末に比べ116,401千円増加し、838,783千円となりました。これは主に現金及び預金の増加18,712千円、仕掛品の増加56,505千円、前払費用の増加34,756千円、売掛金の減少35,042千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ37,805千円増加し、550,921千円となりました。これは主に、前受金の増加69,445千円、受注損失引当金の増加18,500千円、未払費用の減少30,978千円、1年内返済予定の長期借入金の減少33,336千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ78,595千円増加し、287,861千円となりました。これは主に資本剰余金の増加153,006千円、親会社株主に帰属する四半期純損失124,375千円、非支配株主持分の計上48,819千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想につきましては、第3四半期を経過し現時点の情報に基づき合理的な算定が可能となったため本日付で公表いたしました。詳細につきましては、本日(2020年2月12日)公表いたしました「通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	446,238	464,950
売掛金	188,693	153,651
仕掛品	18,839	75,345
前払費用	40,781	75,537
その他	5,914	7,958
流動資産合計	700,467	777,444
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウェア	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	9,724	28,376
長期前払費用	-	21,390
その他	12,189	11,571
投資その他の資産合計	21,914	61,339
固定資産合計	21,914	61,339
資産合計	722,381	838,783
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,686	37,125
1年内返済予定の長期借入金	127,160	93,824
未払費用	106,624	75,645
未払法人税等	858	861
未払消費税等	22,290	12,315
前受金	49,146	118,591
賞与引当金	7,038	12,644
返金引当金	252	67
受注損失引当金	-	18,500
その他	55,227	54,608
流動負債合計	395,284	424,183
固定負債		
長期借入金	117,809	121,618
繰延税金負債	22	5,120
固定負債合計	117,831	126,738
負債合計	513,116	550,921
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,051	90,617
資本剰余金	291,412	444,419
利益剰余金	△176,085	△300,461
自己株式	△345	△401
株主資本合計	205,032	234,174
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,843	3,712
その他の包括利益累計額合計	2,843	3,712
新株予約権	1,390	1,155
非支配株主持分	-	48,819
純資産合計	209,265	287,861
負債純資産合計	722,381	838,783

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	991,681	895,359
売上原価	529,690	491,182
売上総利益	461,991	404,177
販売費及び一般管理費	482,717	562,267
営業損失(△)	△20,726	△158,089
営業外収益		
受取利息	203	69
為替差益	7,692	-
仮想通貨売却益	-	3,835
持分法による投資利益	-	18,786
雑収入	1,252	39
営業外収益合計	9,147	22,731
営業外費用		
支払利息	624	744
為替差損	-	638
仮想通貨評価損	1,717	16
持分法による投資損失	11,424	-
雑損失	443	2
営業外費用合計	14,208	1,401
経常損失(△)	△25,787	△136,760
特別利益		
新株予約権戻入益	415	235
特別利益合計	415	235
特別損失		
減損損失	2,645	3,057
特別損失合計	2,645	3,057
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,017	△139,582
法人税、住民税及び事業税	6,190	861
法人税等調整額	-	5,098
法人税等合計	6,190	5,959
四半期純損失(△)	△34,207	△145,542
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,207	△124,375
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△21,166
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	1,003
持分法適用会社に対する持分相当額	△559	△133
その他の包括利益合計	△559	869
四半期包括利益	△34,767	△144,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,767	△123,603
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△21,069

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社である株式会社タイムチケットは、2019年6月28日、2019年8月30日、2019年11月15日に第三者割当増資を実施し、総額222,330千円の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が152,440千円増加し、親会社である株式会社グローバルウェイの新株の発行による565千円の増加と合わせて、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が444,419千円となっています。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間において、タイムチケット事業を分社化し株式会社タイムチケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ ウェブメディア 事業	ビジネスア プリケーシ ョン事業	シェアリン グビジネス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	467,407	505,911	18,362	991,681	-	991,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	467,407	505,911	18,362	991,681	-	991,681
セグメント利益又は損失 (△)	71,916	67,672	△40,002	99,587	△120,314	△20,726

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△120,314千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注)2
	ソーシャル・ ウェブメディア 事業	ビジネスア プリケーシ ョン事業	シェアリン グビジネス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	468,982	396,229	30,148	895,359	-	895,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	769	-	-	769	△769	-
計	469,752	396,229	30,148	896,129	△769	895,359
セグメント利益又は損失 (△)	88,732	△53,801	△84,637	△49,706	△108,383	△158,089

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△108,383千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに帰属しない全社費用として固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において3,057千円であります。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間から、「ソーシャル・ウェブメディア事業」に含まれていた「シェアリングビジネス事業」について、株式会社タイムチケットを設立したことを契機に組織変更を行ったため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。